

「国際リニアコライダー計画」講演会

(社)国際経済政策調査会の主催する講演会が開催されます。国内候補地の一本化を間近に控え、地元の熱意を示す最後の機会となります。

- 日時=6月21日(土)13:30~15:00
- 場所=市文化会館(2ホール)
- 講師=東京大学素粒子物理国際研究センター 山下 了 准教授
- 演題=「国際リニアコライダー(ILC)計画実現に向けて」
- 定員=500人(先着順)
- 問い合わせ・申込先=本庁政策企画課 ILC推進室 (内線412・415)

「ILC計画候補地における地質調査」の結果報告会

東北大学が、昨年11月からことし5月にかけて実施した「ILC計画候補地における地質調査」の概要がまとまりました。市民の皆さんを対象に、その報告会を開催します。

- 日時=6月23日(日)14:00~15:00
- 場所=伊手地区センター
- 問い合わせ=県庁政策推進室 (☎019-629-5203)

齋藤武彦教授による特別講義を開催

沿岸被災地の学校などで子供たちにILCを含めた宇宙や科学の魅力を伝えているドイツ・マインツ大学の齋藤武彦教授。市と市国際リニアコライダー推進連絡協議会では、齋藤教授を講師に迎え、ILCを東北に誘致することの意義や安全性について解説していただく特別講義を開催します。

- 日時=7月5日(土) 15:30~17:00
- 場所=奥州宇宙遊学館
- 講師=ドイツ・マインツ大学 齋藤 武彦 教授
- 参加費=無料
- 問い合わせ=本庁政策企画課 ILC推進室(内線412・415)



シンポジウム「日本再生」で首都圏に東北のポテンシャルをPR

として、今後、①地元の受入意識の醸成②住居・教育・医療などにおける受け入れ体制の充実③研究者の家族支援——が求められるとし、その対応に意欲を示しました。「ILCをこの地域の活性化の起爆剤とし、夢を持つ子どもたちを多く育てるための礎にしたい」として報告会を締めくくりました。

東京で東北のポテンシャルをPR

東北ILC推進協議会(代表・里見進東北大総長、高橋宏明東北経済連合会長)では5月30日、シンポジウム「日本再生」を都内で開催。講演会のほか「ILCを核とした科学技

術創造立国と東北のポテンシャル」と題したパネルディスカッションを行いました。このシンポジウムで、ILCを日本で実現する意義や、日本再生に向けた東北のポテンシャル(潜在能力)を首都圏に向けてPRしました。

市国際リニアコライダー推進連絡協議会総会を開催

市国際リニアコライダー推進連絡協議会では、セルン視察報告会の前日に総会を開催。平成24年度事業報告や25年度事業計画が承認され、本年度も昨年に引き続き、東北における誘致活動の支援やILCに関する情報の提供などを行うことにしました。

出前講座を実施しています

市は、23年度からILCに関する出前講座を実施しており、本年度も同様に実施。この出前講座は「ILCとは何なのか」「どのような効果があるのか」「安全性はどうなのか」などについて市の担当者が説明するものです。既に地区振興会などを対象にスタート。活発な質問が出るなど、市民の皆さんのILCに対する関心の高さが伺えました。出前講座は、10人以上の団体を対象に実施します。希望する場合は、お気軽にお問い合わせください。



市が東北誘致に取り組んでいる「国際リニアコライダー(以下、ILC)計画」について最新情報をお届けします

第9回

セルン視察報告会を開催

市と市国際リニアコライダー推進連絡協議会は5月16日、「セルン視察報告会」を江刺総合支所で開催しました。報告会には、同協議会会員や一般市民など約120名が参加し、市長らの報告に熱心に耳を傾けていました。

この報告会は、広報おうしゅう5月号でもお伝えしたスイスの欧州



まずは、CERNで目にしたことを小沢市長が報告

まずは、小沢市長が視察の概要を報告しました。視察の目的やCERNの概要、街の様子などについて説明。CERNの要人と懇談したことにも触れ、ILC推進組織責任者のリン・エバンス氏の「日本でのILC建設に大いに期待している」との激励も紹介しました。視察から学んだこととして、①住居、病院、学校などの生活基盤の整備と言葉の問題への対策②リーズナブルな住居の確保③自治体の受け入れ体制④地元との交流機会の提供や観光レジャーなどのソフト面の充実

合同原子核研究所(以下、CERN)視察の成果を報告した。視察団の一員として参加した小沢昌記市長やNPO法人イーハトーブ宇宙実践センターの大江昌嗣理事長、奥州商工会議所の千葉龍二郎会頭の3人が行政、研究者、産業界というそれぞれの立場から報告しました。

視察から学んだこと

まずは、小沢市長が視察の概要を報告しました。視察の目的やCERNの概要、街の様子などについて説明。CERNの要人と懇談したことにも触れ、ILC推進組織責任者のリン・エバンス氏の「日本でのILC建設に大いに期待している」との

おもてなしの心が大事

3人の報告後、江刺区出身で、CERNに駐在する佐々木修教授(高エネルギー加速器研究機構)から送られたビデオメッセージを上映。ビデオの中で佐々木教授は「大事なことは地元のホスピタリティ(おもてなしの心)。この点は日本、岩手は最高だと思う」と語り、岩手への誘致実現に期待を表しました。

最後に、小沢市長が視察のまとめ

ILCの読本を発行

いわてILC加速器科学推進会議(亀掛川富夫代表幹事)では、ILCについて解説する読本「ILCを東北に〜宇宙の解明、学術都市の形成〜」を発行しました。A4判、カラーで印刷されたこの読本。ILCの概要や目的、効果などを45ページにわたって分かりやすくまとめており、市内の中高生の教材として活用されます。

- 問い合わせ=いわてILC加速器科学推進会議(NPO法人イーハトーブ宇宙実践センター内☎@2020)



大江理事長は、今後に向けた課題などにも触れました